

ほんごう



学校 HP

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和 7 年 8 月 2 9 日

帰宅時刻(4~10月)→17:00

ヨルダンから見つめ直す日本の美しさ

教頭 若宮 香織

私は海外旅行が趣味で、これまで 60 カ国近くを訪れました。この夏に訪れたヨルダンは、私に日本の素晴らしさを再認識させてくれる特別な旅となりました。

ヨルダンは、砂漠やペトラ遺跡、死海が有名な国です。また、首都アンマンの旧市街は、白い街と言われるように壁が白い家が立ち並び、全体を見ると美しい街並みです。しかし、歩いて散策すると道端にはゴミが散乱していました。また、治安はよく、親切なヨルダン人もいますが、ペトラ遺跡では「無料だ」と馬やロバに寄せ、降りた途端に法外な料金を要求されたり、断っているのにスマホを奪って写真を取りチップを要求したり、騙して儲けようとする人も少なくありませんでした。死海ではビーチにあるシャワー4つのうち1つしか水が出ず、外気温40~50度の中では、熱湯となっており、満足に体を洗うことはできませんでした。

それに比べて日本は快適で、すべてのものがきれいに整い便利な環境です。ヨルダンに限らずどの国からの帰国でも、成田空港に降り立った瞬間、私はいつも感動します。空港の床には、一片のゴミも落ちていない。手荷物カートは整然と並べられ、清掃員の方が丁寧に作業をしています。電車の乗り場などでは、人々は列に並び、静かに自分の順番を待っています。シンガポールでは、ゴミのポイ捨てをすると罰金が科せられるため、とてもきれいだと聞いたことがありましたが、実際には日本のほうが遥かにきれいです。

なぜ日本人はゴミをその辺に捨てたりしないのか。電車を待つときに並ぶのか。それは、家庭教育や学校生活の中で、そういう習慣を身につけてきたからなのです。外国の小学校では、教室を掃除することはあまりありません。自分たちの使った場所を自分たちできれいにするという日本では当たり前のことも、次に使う人のことを考える日本人の良さなのです。我先にと押しのけるのではなく、順番を守ったり、譲ったりすることも、小学校では様々な場面で教えています。

ヨルダンの大地に残る壮大な遺跡は、遥か昔の偉大な文明を今に伝えています。その力強い歴史の魅力に触れる旅は、私にとってかけがえのない経験です。しかし、異文化に触れ、日本を外から眺めることで、いつも私は日本のもつ繊細な美意識や他者を思いやる心が、いかに素晴らしいものかということを思い出します。学習から様々なものの見方や、考え方を広げ、深めることと併せて、休み時間や給食、掃除の時間の中にも大きな学びがあります。本郷小学校の子どもたちには、夏休み明けも学校生活での取組の一つ一つを丁寧にやること、続けること、相手を思うことを意識して楽しく学校生活を過ごしてほしいと思います。